

学外研修報告

平成 29 年度国立大学法人機器・分析センター協議会に参加して

共通機器部門 藤高 仁

1. はじめに（目的等）

国立大学法人機器・分析センター協議会は、参加機関に設置されている共通分析装置を管理する施設の教職員が、施設運用のために協議や情報交換を行う全国会議である。

2. 期間・場所

期間：平成 29 年 10 月 20 日

場所：ホテルサンルート室蘭

3. 参加者等

国立大学法人等学術機関で共通分析装置の施設及び装置の管理運用を支援する教職員

4. 研修内容

開催校主催による関連施設で業務を行う技術職員のために技術職員会議が開かれ現在深刻な問題となっている人材不足に関する対応策等、議論をを行った。

協議会では本学齋藤健一教授をはじめ 3 つの機関よりの特徴的な施設運用の取り組みについて報告があった。文部科学省研究振興局学術機関課より平成 30 年度の概算要求での関係事業の内容と予算配分について説明を受けた。また協議会幹事校の負担軽減のため小委員会の設置を協議し小委

員会設置が可決された。その後各小委員会の委員推薦と承認が行われた。

5. まとめと感想

協議会に先立って開催された技術職員会議では技術職員により協議会会員校で問題となっている人材不足を技術職員で対応可能な方法を模索し活動を行っている。本年度は機関をまたがる人材育成について集中的に協議が行われ現在、分子科学研究所の人材育成交流 支援事業にて運用されている人材育成データベースを有効に活用し装置の講習を受け個人のスキルを上げる。スキルが上がれば作業時間の短縮が見込まれ人材不足の解消に貢献すると考えるため積極的に利用したい。

協議会にて本学の齋藤健一教授の広島大学における機器の共同利用についての発表を聴講し本学の設備サポート体制の確認と実績について再確認した。文部科学省研究振興局学術機関課中島様より「共同利用・共同研究体制の強化について」今後の国による施策説明があり本学の機器分析施設を支援するための参考となった。

最後に小委員会 2 つ「技術サポート人材検討委員会」と「広報委員会」の設置が可決され藤高が「技術サポート人材検討委員会」委員の一人として推薦され承認された。

今後、協議会を微力ながら補佐していくこととなるため、期待に沿えるよう努力したいと考えている。